

知事と JR 東海・柘植社長との会談（概要）

長野県建設部 リニア整備推進局

1 日 時：平成 30 年 3 月 12 日（月）16:20～17:20

2 会 場：長野県庁 3 階 特別応接室

3 知事発言要旨

- ・リニア中央新幹線は、伊那谷、長野県の発展にとって極めて重要な事業。
- ・地域の声に引き続き真摯に耳を傾け、事業が進められるようお願いする。
- ・工事の安全に万全を期すとともに、地域の皆様の生活環境への影響が生ずることをご認識いただき、最大限の配慮をお願いしたい。

【松川インター大鹿線土砂崩落】

- ・地域の皆様にとっては暮らしの幹線道路。大変な影響、ご迷惑をおかけした。これからはこうした事故が起きないようにしていただきたい。
- ・土砂崩落の事故の原因究明、安全対策をしっかりと行い、地域の皆さんには真摯に対応をお願いしたい。

【個別の課題】

- ・各市町村と JR 東海担当者との顔の見える関係づくりをお願いしたい。
- ・発生土の処理の問題、運搬ルートの問題、環境対策として水源地の問題、防音対策について地域の皆さん方の思いを踏まえ対応をお願いしたい。
- ・水源の問題は、長野県にとっては重要な問題。審議会から出される意見は県としてしっかりと受けとめなければならないと考えている。JR 東海には真摯に対応していただきたい。

【観光振興への協力】

- ・伊那谷の発展、観光振興については、これまでも JR 東海にお願いしてきたが、県としてもしっかりと取り組んでいくので、JR 東海には一層のご尽力をお願いしたい。
- ・信州 DC への取り組みに感謝。信州 DC アフターキャンペーンを含め、これからの観光振興、飯田線をはじめとする在来線の利便性向上に格別な取組をお願いしたい。

【その他】

- ・リニア長野県駅には1時間に上下各1本以上は停車本数を確保してもらいたい。
- ・岐阜県美乃坂本駅に特急を停車させてほしい。

【トップ会談】

- ・今後も率直な意見交換をする機会を、これまでと同様な形で作っていききたい。

4 JR東海社長発言要旨

- ・阿部知事をはじめ、県の皆様の日頃からのご支援、ご協力に感謝。

【松川インター大鹿線土砂崩落】

- ・地元の皆様に大変なご迷惑、ご不便をおかけし申し訳ない。
- ・しっかりと原因を究明し、対策を考えるとともに、今回の件を教訓とし、様々な場面での安全の向上に努めていく。

【個別の課題】

- ・顔の見えるいい関係づくりにさらに磨きをかけ、関係を密にしていきたい。
- ・安全や環境の問題に加えて、今後、工事が本格化すると、地域の皆さんとは、今まで以上に強く連携していくことが大事だと思っている。
- ・防音防災フードの設置は、全線を通じての話題であり、しっかりと検討すべき課題と認識。十分に検討して丁寧に対応をしていく。
- ・発生土置き場の確定に向けて、引き続き、ご協力をお願いしたい。

【観光振興への協力】

- ・信州DCにおいては、地元の皆さんも大変一生懸命協力していただき、有意義な活動となり、地元の皆さんとの新しい連携ができたように思う。
- ・信州DCアフターキャンペーンを含め、引き続き地元の観光振興に努めていく。

【その他】

- ・長野県駅への1時間に1本の停車、リニア開業後の美乃坂本駅への在来線特急停車については、要請があったということは受け止め、開業が近くなった段階で決めることになる。

【トップ会談】

- ・4月から金子社長のもと新体制となるが、引き続き、このような場も活用して連携を深め、計画を進めてまいりたい。